

愛知大学

キャリア支援センター

発足にあたって

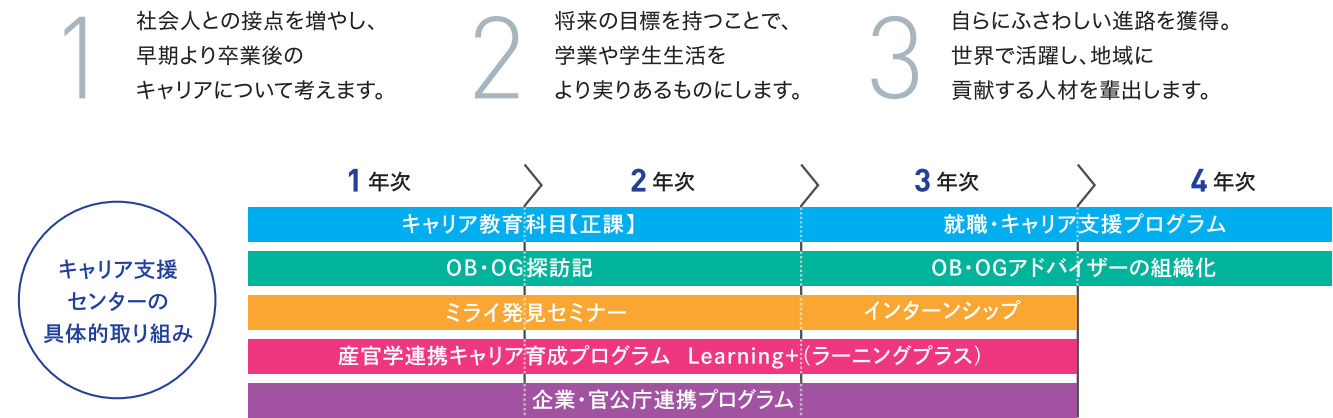
本学では建学の精神に基づき、「主体的な学び・経験の蓄積による自立・自走型人材の育成」を目指す新たなキャリア形成支援システムとして「愛知大学・包括的キャリア形成支援システム(CISA)」を構築、推進して参りました。

卒業をゴールとせず、4年間の学生生活をトータルにサポートするため、低年次から、正課科目としてのキャリアデザイン関連教育を、正課外ではPBL(課題解決型学習)プログラムである「Learning+(ラーニングプラス)」を展開しております。

今次、さらに充実したキャリア形成ならびに就職活動支援に関する取り組みを企画・立案、推進するためにキャリア支援センターを設置いたしました。これまで以上に、きめ細やかな学生サポートを展開いたします。

さらに「生きる・働く・学ぶ」をつなぐ「学びの場」を構築します。産・学・官の連携を強化し、学生諸君が早期

愛知大学・キャリア支援センターはめざします



産官学連携キャリア育成プログラム

Learning+プラス

キャリア形成支援の具体的手段として展開する正課外のPBL(課題解決型学習)プログラム。

企業・官公庁と連携し、約半年間に渡る課題解決型学習(PBL)です。全年次、全学部を対象とし、日頃の学部教育での学びを活かして取り組みます。参加学生はチームを組み、与えられた課題について調査・研究の上、その解決策を企画立案。最終的にプレゼンテーションで競い、優秀な提案は企業や官公庁での実現化をめざします。プログラムを通じて、多くの社会人と触れることで、業界や社会の動きを深く理解し、主体性、課題解決力、論理的思考力、協調性など、社会で生きる力を育みます。参加学生は実際の社会と向き合うことで大きな負荷を感じながらも、乗り越えた先の達成感も大きく、参加者の満足度が非常に高いプログラムです。

参加学生の声

名古屋を愛大生の手で魅了する街に

今回の「学生による中部観光提案コンテスト」は名古屋が舞台であり、名古屋駅付近の大学に通う私たちにとってやりがいを感じる企画でした。企画を立案する際は愛知大学生が中心となって名古屋のために貢献できることを常に意識し、立地等のアドバンテージを活かした画期的な企画を考案しました。その成果もあり、実現可能性が高く評価され優勝という最高の思い出に残る結果を頂き、大変嬉しく思いました。

OBOG探訪記

企業・官公庁の第一線で活躍する卒業生の職場を訪問し、取材、発表、Web制作…。低年次から職業観を身につける。

学生の主体的な意志のもと、企業・官公庁にご協力をいただき事前の調査・研究を経て、実際に企業・官公庁を訪問させていただき企業活動を知るとともに、本学OB・OGの方に取材を行い「実際の業務内容」「有意義な学生生活」への理解を深めるものです。また、取材を通じて得た学びや気づきを本学公式HPや報告会にて発信します。

2017年度訪問先	アイシン・エイ・ダブリュ(株)／(株)ジェイアール東海高島屋／瀧定名古屋(株)／(株)竹中工務店／(株)名古屋銀行／有楽製菓(株)／愛知県庁／浜松市役所
-----------	--

■2017年度実施プログラム	
Class 1 第6回 学生による中部観光提案コンテストナゴヤ編	魅力ある都市として国内外から注目されることをめざす名古屋市をターゲットとします。3つの分科会を立ち上げ、サポーター・担い手の一員として期待される「大学生」がインバウンド推進のためにできることを考えます。
Class 2 JAL&HIS×愛知大学海外ツアー商品企画・開発プロジェクト	航空／旅行業界を牽引するJAL及びHISと愛知大学のコラボレーション企画。業界の動向等の講座及び空港見学等で得た視点、アイデアから台湾行きの航空機を利用した旅行の商品化をめざします。
Class 3 ブラザー販売×愛知大学マーケティング・販売促進オペレーション	情報機器事業を中心に、グローバルに展開するブラザーグループの国内向けマーケティングを担うブラザー販売とのコラボレーション企画。モバイルプリンターの拡販戦略をテーマに、グループで立案します。
Class 4 アサヒビール×愛知大学マーケティング×プロモーション	酒類・飲料メーカーを代表する企業であるアサヒビールとのコラボレーション企画。「中部エリアをターゲットにマーケティングに基づいたアサヒビール商品プロモーション」に挑戦します。



参加学生の声

大学に入って自分の将来に対する考え方の意識改革をしたいと思います。このプログラムでは、OBOG訪問だけでなく、就職活動を間近に控えた3年生に対するプレゼンテーションなど、普通に大学生生活を過ごしていたら絶対に体験できないことがたくさんありました。取材はもちろんのこと、企業研究や企業へのアポイント、さらには魅力的な伝え方など、多くのことを学べました。企業への電話や取材、プレゼン練習では毎回緊張していましたが、本番当日、企業の方を含めた約400人の前で堂々と発表できたときは「私、変わった!」と思えた瞬間でした。



から社会や地域、産業界を深く知り、その理解を深めること、そして自分の生涯におけるキャリアパスをイメージし、そのビジョンを獲得すること、様々な体験と気づきを通して、主体的に進路を決定する能力、職業意識ならびに社会人力・人間力、国際理解力を伸ばしていくこと、かかる新たなキャリア形成支援プログラムを引き続き開発、推進して参ります。

また正課と課外が有機的に呼応し、低年次からの業界理解、職業人意識の涵養などを目指したワークショップ・講演会などを開催いたします。この取り組みを支えるフレームワークとして、学生をぞと真ん中に据えたキャリア・パスファインダ「Futurum*」を創出し、産学官が協働して「人財」を育成する試みを推進して参ります。

*フトゥールム、「未来」を意味するラテン語

キャリア支援センター長 吉川 剛



キャリア教育科目(正課授業)

2018年度より共通教育科目に、主に1～2年次生を対象とした「キャリア教育科目」を配置。自分自身を理解するとともに、職業や社会を広く知ることを通じて、卒業後どのような仕事か、どのような人生を送りたいのか、自身のキャリアプランについて考えます。キャリア教育の専門教員に加え、企業や官公庁から講師を派遣いただき、将来についてしっかり考える機会とします。将来の目標を持つことで、学業や学生生活をより充実させ、成長を促します。

インターンシップ

大学での学習と社会での実地経験を結びつけることにより、学習意欲の向上と専攻・学習分野での知識の充実・深化を図るとともに、職業意識、責任感・自立心の醸成を図ることを目的として実施しており、約250名の学生がキャリアアップを実現しました。また、現代中国学部では、学部独自の取り組みとして、2005年より現地主義教育の一環として中国の現地日系企業でインターンシップを実施しております。学生はグローバルな舞台を体験する中で自身の職業適性や将来設計について考える良い機会となり、主体的な職業選択への意識の醸成を促します。

就職・キャリア支援プログラム

就職活動の実態を知り、自分の将来を深く考え望ましい職業観を作り上げ、自分にふさわしい就職を実現するために、3年次生を対象に春学期より「キャリア支援ガイダンス」を複数回開催しています。ガイダンスでは、一方的な講義にならないよう、自己分析、ES作成などワークスタイルの学びを取り入れ学生の理解の向上を促します。また、一人ひとりにふさわしい支援を実現するために、カウンセリング体制も強化。3年次秋学期に実施する「個別面談」は、就職希望者と必ず一度面談する本学ならではの取り組みであり、学生一人ひとりのキャリアビジョンや悩みを共有します。その他、社会人との接点を増やし職業意識や業界理解を深めるために以下の事業を積極的に展開しています。

OB・OGとの懇談会

卒業後10年以内の若手OB・OGが仕事や就活についてレクチャー

就職活動体験セミナー

企業人事担当者による模擬面接など実際の就職活動を体験

企業・官公庁セミナー

400以上の官公庁・企業を大学に招いてセミナーを開催

OB・OGアドバイザーの組織化

大手・地元有力企業に入社する卒業生を「キャリア・アドバイザー」として登録、同窓会とも連携し組織化を進めていきます。後輩の就職活動時に、人生の先輩として、あるいはその業界・企業の一員としてよきアドバイスをいただき、学生の進路選択に際しご支援をいただく体制を構築します。学生はOB・OGからの“活きた情報”に直接触れ、深い理解によりミスマッチの無い進路決定に結びつけます。